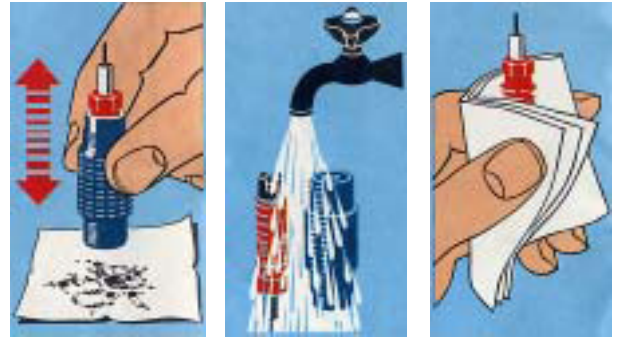


## マルスマチックのお手入れ

**通常の洗浄方法** ホルダーの軸尾についているニブキー⑧でペン先をはずし、ペン先・グリップ・インクタンクの残留インクを水道で軽く振りながら、インクが出なくなるまで洗浄します。特にペン先は上下、左右に振りながらよく洗い中針の動きが軽くなるまで続けます。



洗浄後は、ペン先やグリップ部を十分に乾燥させてください。

内部に水分が残っていると次回使用する際にインクが薄くなります。

\* 極細ペン(0.2mm以下)をご使用の場合は、出来るだけインクを抜き、洗浄して保管してください。

\* ペン先の分解は絶対にしないでください。(中針を曲げてしまうおそれがあります。)

### インクが固まっている場合

インクが固まっている場合は強く振らないでください。

約10倍に薄めた中性洗剤にペンを一晩漬けて、超音波洗浄器を併用するととっても効果的です。

中性洗剤を使用した場合は、十分にすすいでください。

\* インクが固まったままペンを振ると中針が曲がったり、切れたりする場合があります。

\* 長時間放置してインクが非常に硬くなってしまった場合は中性洗剤に漬けても復帰しない場合があります。

**キャップの掃除** 目詰まり防止のためにキャップ内のスプリングシールに付着した、汚れやインクを時々綿棒などでクリーニングしてください。

\* キャップが十分に締まっていなかったり、目詰まりして書けない細いペンを強く振ると極細の中針ワイヤー②が曲がったり切れたりする場合があります。

**中針の確認** 中針は細いワイヤーとおもりで構成されていて、ペン先内部のインクを紙面に導く役目をしています。ペン先が紙面に触れていないとき重りの下の部分が栓の役目をし、不要なインクが流れ出すのを防いでいます。中針のワイヤーがペン先から出ていないと栓が閉まったままになってしまうため筆記することが出来なくなります。爪にペン先を垂直にあて、尾栓部の重りが上下に動けば正常です。

